

テキスタイルカレッジ 『感覚と計測』

ファッション製品において感性は重要な部分ですが、最近では視覚、聴覚、臭覚、触覚を計測して数値で表し、着心地や使い心地を客観的に捉えアピールすることが非常に重要になってきています。繊維の分野では、以前からすでに布の風合いを科学的に解明する研究がなされてきました。1972年には、風合いの構成要素は、織物の形態 および物性、刺激情報の伝播機構、心理現象の3つであることが、熨斗秀夫氏によって提唱されていますが、これまでの風合い研究は、主に布の物性から主観評価に対応する風合いを客観評価することで進んでいます。日本繊維機械学会は、産学共同研究を通して風合いの規格化計量を成し遂げたという歴史を持つ学会でもあります。風合い研究の歴史と発展している感覚計測研究の現在の状況について把握し、知識を深めてください。

まず、風合い研究の歴史とその重要性をよくご存知の原田氏に、繊維業界のみならず、広い分野で応用されている感覚計測の歴史と今後の課題についてお話をいただきます。風合いに関する具体的な問題をお持ちの方がおられましたら、原田氏が具体的にお答えくださるとのことですので、サンプルなど持ってきていただいたらと存じます。続いて、感覚計測の具体的な内容として、内野（株）商品開発室長の穂積氏にタオルのパイル心地と新用途についてご講演いただきます。さらに、触感をはじめ、動きやすさや光沢、色の見え方など幅広い感覚計測を行っておられ、感覚計測、繊維工学の分野の権威であられる西松氏には、繊維製品の心地の評価として、その基礎と応用についてお話いただきます。

製品の品質の高さを示すとともに、付加価値としても重要な意味をもつ感覚計測とその客観評価はこれまで以上に重要なポイントになってくると考えられます。改めて基礎を学んでいただき、新たな発展につなげていただきたいと考えています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【日時】平成25年3月4日（月）10.00～16.00

【会場】大阪科学技術センタービル (<http://www.ostec.or.jp/data/access.html>)

(大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

【内容】

(1) 風合い計測－触感評価の最先端を走るテキスタイル分野－ (10.00～12.00)

キーワード：風合い、多様な風合い研究手法、感性と風合い、快適性と風合い

風合いに関するご質問、ご相談をお受けします。試料をお持ち頂ければよりの確な返答が可能になります。

元東洋紡技監、日本繊維機械学会フェロー 原田 隆司

(2) タオルのパイル心地と用途との関係 (13.15～14.15)

キーワード：タオル、製織方法、パイル心地とは、タオルの新用途

内野（株）商品科学研究室 室長 穂積 秀一

(3) 繊維製品の心地を評価するには (14.30～16.00)

キーワード：視覚と触知覚、官能検査法、材質感、布の外観評価、着心地

信州大学 繊維学部 教授 西松 豊典

【定員】30名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

【協賛】大阪染色協会

【参加費】会員 10,000 円，非会員 18,000 円，学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円
（いずれもテキスト代，消費税を含む）

【申込】「テキスタイルカレッジ感覚と計測」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にてお申し込み下さい。

【申込先】日本繊維機械学会 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

（社）日本繊維機械学会 行

FAX : 0 6 - 6 4 4 3 - 4 6 9 4

E-mail : i-love-tmsj@nifty.com

平成 25 年 3 月 4 日（月）開催

テキスタイルカレッジ「感覚と計測」参加申込書

氏名： _____

勤務先： _____

所属部課名： _____

所在地：〒 _____

連絡先 TEL： _____ FAX： _____

E-mail: _____

会員種別： _____

連絡事項： _____

今後，本学会からの開催行事案内メール配信を

希望する ・ 希望しない

希望するを選ばれた場合メールアドレスを記載下さい

E-mail: _____